



天候不順により生産量大幅減

2013年のカリフォルニア産ストロベリーは5月から収穫が開始されています。作付面積は3万8,500エーカーと前年から若干(500エーカー)の増加でした。

今期は春先の天候不順により収穫のピークが通常よりも早く訪れたため、収穫を行なう労働者が不足し、加工用になるストロベリーの収穫量が大幅に減少し、冷凍ストロベリーの生産量は大幅に減少する模様です。

現時点では今期の明確な生産量は不明ですが、現地パッカーからの情報では平年の70%程度になるとの予想です。現地のオファー価格も5%程度上昇しており、前期と比較して大幅に円安ドル高に振れているドル円為替の影響もあり、最終的な販売価格での大幅な値上げは避けられない状況です。

弊社では現在カリフォルニア産の冷凍ストロベリーアルビオン種ホール(13.6kgパルク、500g×20袋)、ダイス(13.6kgパルク)を取り扱っています。アルビオン種についても最近では作付面積が減少傾向となっており、今後、他産地、他品種の取扱いを検討する必要があるが出てくる模様です。今後の動向、詳細につきましては、弊社営業担当者までお問い合わせください。



6月13日Watsonville地区収穫風景



アルビオン種



露地栽培、全てマルチで包まれている。畝が高く、収穫し易い。

カリフォルニア州品種別作付面積推移

